

授業科目名	現代教育課題 B (特別支援) (2100203)		
時間割名	現代教育課題 B (特別支援) (11112)		
時間割担当	厨子健一		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・1		

授業の目標・概要

特別支援教育とは、障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、個別の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。平成19年4月から学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障害のある幼児児童生徒の支援をさらに充実していくこととなった「特別支援教育」の基礎的な知識、方法、事例研究について学ぶとともに、全ての人の多様な可能性にひらかれた「学びのユニバーサルデザイン」の重要性について言及する。

学習の到達目標

1. 障がいについての理解を深める。
2. 障がいのある人への教育のあり方を理解する。
3. 特別支援教育と社会福祉との関連性を理解する。

授業方法・形式

1. 配布レジュメに沿って、講義を進める。
2. 講義では、個人ワーク、グループワークを多く取り入れる。
3. 自分の考えを発表する機会を設ける。

授業計画

- 第 1 回 オリエンテーション、障がいとは？
- 第 2 回 障がい受容
- 第 3 回 障がいのある人への差別
- 第 4 回 障がいのある人への差別
- 第 5 回 特別支援教育の制度
- 第 6 回 通常学級における支援の実際
- 第 7 回 発達障がいへの理解
- 第 8 回 発達障がいへの理解
- 第 9 回 発達障がいへの理解
- 第10回 特別支援教育コーディネーターによる支援
- 第11回 特別支援教育コーディネーターによる支援
- 第12回 特別支援教育コーディネーターによる支援
- 第13回 特別支援教育と社会福祉
- 第14回 特別支援教育と社会福祉
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

1. 授業への取り組み (70%)
個人ワーク、グループワークに対する態度、ワークシートの内容で評価する。
2. テスト (30%)
授業内で配布したレジュメから、語句説明問題、論述問題を出题する。

授業時間外の課題

新聞やテレビなどで取り上げられる特別支援にまつわる特集など、意識的に目を向けるようにする。

メッセージ

この授業では、個人ワーク、グループワークを積極的に取り入れます。そして、随時、考えた意見を発表する機会を設けます。グループで活動することや発表が苦手であることは問題ありません。一番大切なことは、真剣に取り組む姿勢です。

教材・教科書

適宜、授業でレジュメを配布する。

参考書

授業中に指示する